

個人情報流出の再発防止策について

学校教育課

この度発生した個人情報流出事故の再発防止に向けて、以下のとおり取り組む。

1 事故概要

令和7年2月28日、市内中学校が保護者連絡ツールを通じて資料を配信した際、若干名の生徒の名字及び進路に関する情報が含まれていた。

2 発生要因

直接的な要因：配信担当者の配付資料の確認不足
→ システムの不具合ではなく、人的ミスに起因

3 再発防止策

〈方針〉人的ミスの発生を抑えるとともに、人的ミスが発生しても情報が流出しない仕組みをつくる。

(1) 人的ミスの防止**【学校での対策】**

- ① 配信文書を管理職を含む複数人で確認する。
- ② 配信方法を確認する。(保護者連絡ツールの活用または紙ベース)
- ③ 生徒・保護者宛文書と教職員用校内文書の保存場所を分け、ファイル名で明確に区分する。
- ④ 職員会議や校内研修で個人情報管理の徹底と資料配布時の留意事項を共有する。

【前橋市教育委員会での対策】

- ① 保護者連絡ツールのワークフロー機能の活用を指示する。
(配信前の管理者による「承認ボタン」の使用など)
- ② 人的ミスやヒヤリハット事例、対策について情報共有を行う。
- ③ 研修を実施する。

(2) 発生時の早期対応**【学校での対策】**

- ① 配信後、配信文書の内容を再確認する。
- ② エラー報告しやすい環境を整える。

(3) 環境整備

今回の事故の要因ではないが、学校において以下にも十分留意する。

- ① 就業環境を整備する。(集中力低下やストレスを軽減する環境づくりを推進)
- ② 各自の机やPC周辺及びPC内部の資料の整理を行う。